

N1の文法形式には、後に必ず名詞が来るものがあります。また、名詞を説明する形式も、初級で学習したものに加えてさらにいろいろあります。

1 後に名詞が来るもの

- ・～まじき 暴力をふるうなどは、許すまじき **行為**だ。(第1部13課)
- ・～べからざる さち子さんはこの仕事仲間に欠くべからざる **存在**だ。(第1部13課)
- ・～ともあろう あなたともあろう **人**が、どうして人にだまされたの？(第1部14課)
- ・～あつての お互いの協力あつての **結婚生活**だ。(第1部17課)
- ・～からある 毎日10キロからある **道のり**を自転車で通った。(第1部17課)
- ・～にかかわる これは将来にかかわる大切な **問題**だ。(第1部A)

2 名詞を説明する形式

a) 動詞のて形・～たり～たりの形・条件の言い方+の+ **名詞**

- 例
- ・子供を入れての **人数**
 - ・親がいてこそその **安心感**
 - ・寝たり起きたりの **生活**
 - ・お金があつたら **話**
 - ・もし良ければ **話**

b) 副詞+の+ **名詞**

- 例
- ・たびたびの **入院**
 - ・全くの **誤解**

c) 普通形+ **名詞** (ことからの内容を説明する場合)

- 例
- ・信頼できるリーダーがいない **状態**
 - ・間違いをチェックする **役割**
 - ・銀行から大金が盗まれた **事件**
 - ・よくわからないとき、頻繁にまばたきする **くせ**

d) 普通形+という+ **名詞** (発話や心情の内容を説明する場合)

- 例
- ・来年もまたここで集まろう **という話**
 - ・これから先どうなるんだろう **という不安**
 - ・わたしが作ったんだ **という満足そうな顔**

次の文の **★** に入る最もよいものを、1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 他人の功績を横取りする **★** することではない。
1 大学の学長 2 人の 3 ともあろう 4 なんて
- 2 原爆を落とす **★** してはならない。
1 行為を 2 などという 3 許すべからざる 4 二度と
- 3 わいろを受け取る **★** ことだ。
1 政治家に 2 まじき 3 ある 4 とは
- 4 従業員の皆さんは、**★** 姿勢を忘れないでください。
1 お客様 2 サービス業 3 という 4 あつての
- 5 政府からの補助金が打ち切られる **★** 話ではないと楽観していた。
1 事態も 2 という 3 の 4 今すぐ
- 6 わが社の **★** 気がつくべきだった。
1 経済状態について 2 存続にかかわる 3 深刻な 4 もっと早く
- 7 昨日は **★** ので、かえって疲れた。
1 山道を 2 でこぼこした 3 ゆっくり歩く 4 登山だった
- 8 江戸時代末期に、**★** 高い若者が活躍した。
1 日本の政治を 2 志の 3 という 4 良くしよう
- 9 値札に書いてある **★** 値段です。
1 36,540円 2 消費税 3 というのは 4 込みの
- 10 日本へ来た **★** 友人が訪ねてきた。
1 翌年 2 国で 3 昔からの 4 就職した
- 11 話し合いの後、わたしは、言うべき **★** 満足感を持った。
1 ことは 2 密かな 3 という 4 すべて言った
- 12 この作品を **★** 焦りのため、毎日いらいらしていた。
1 期限までに 2 指定された 3 という 4 作り上げたい